

○「次世代型・火山ハザードマップに関する研究集会」

【（独）防災科学技術研究所火山防災研究部 つくば火山学セミナー共催】

日時： 平成21年3月9日（月）10:00～16:00

場所： 茨城県つくば市（防災科学技術研究所・研究交流棟セミナー室）

主旨： 近い将来の火山噴火で実際に役立つ新しいハザードマップのあり方について議論する。

火山防災に役立つ新たなツールとして、「次世代型ハザードマップ」や「リアルタイムハザードマップ」などの開発に期待が寄せられています。しかし、その新しい「ハザードマップ」の具体的な機能に関するイメージは、個人によって大きくばらつきがあるような印象があります。現在、標準的に使われているハザードマップの改善すべき点の抽出とともに、現状の限られた技術や予算・人材の活用と今後必要な技術開発にも焦点を当て、最も実用的・有効な次世代のハザードマップを作成するには、今後、何をすることが必要なのか、どのような方向性がよいのかをリストアップするための議論を行いたく思います。

主な議題：

○「リアルタイムハザードマップ」や「次世代型ハザードマップ」という看板を掲げたプロジェクトで実際、何をやろうとしているのか？（国土交通省、気象庁、産総研、コンサルタント、防災科研などの現状に関する情報の共有化）

○実際に噴火が起きたとき、地元住民や防災担当者らは、どのような情報を必要としているのか？（「次世代型ハザードマップ」に盛り込むべき情報に関する意識の共有化）

○今後のハザードマップは、何を指針として作成していくべきか？（現状の技術レベル、人的資源で作成可能なハザードマップの理想像に関する意見の集約）

プログラム（暫定版090204：敬称略）

10:00 開会の辞 防災科学技術研究所 鷗川元雄

10:05 趣旨説明 防災科学技術研究所 藤田英輔

—第1部：リアルタイムハザードマップの概念—

10:20 防災対策から見たリアルタイムハザードマップへの期待と課題
国土技術政策総合研究所 布村明彦

10:40 噴火前兆・進行中における噴火予知連の立場から（仮題）
東京大学地震研究所 藤井敏嗣

11:00 緊急時に必要な情報等（桜島における事例など）（仮題）
京都大学防災研究所 石原和弘

—第2部：リアルタイムハザードマップ実現のための技術的検討—

11:20 緊急減災対策における数値シミュレーション手法の課題
砂防・地すべり技術センター 安養寺信夫

- 11:40 地表面現象シミュレーション技術 防災科学技術研究所 石峯康浩
(12:00 ~ 13:00 昼休み)
- 13:00 次世代リアルタイムハザードマップのためのGEO Grid火山重力流システム
産業技術総合研究所 宝田晋治
- 13:15 気象庁降灰予測システム 気象庁火山課 新堀敏基
- 13:30 火山噴火に緊急的に対応するための火山灰等の調査手法とその利活用
土木研究所 田村圭司
- 13:45 自動降灰・降雨量計による降灰観測と火山灰堆積分布推定法について
日本工営 田島靖久
- 14:00 次世代型ハザードマップの現状と課題-故きを温ねて新しきを知る-
国際航業 佐々木寿
(14:15 ~ 14:30 休憩)
- 第3部： 必要とされるリアルタイム情報とは（総合討論）—
- 14:30 東京都の火山防災対策と緊急時における火山情報への要請
東京都 笹井洋一
- 14:45 火山災害の危険度評価手法の検討-那須岳火山地域での試行-
宇都宮大学 中村洋一
- 15:00 「昼は雲の柱」にみる噴火危機対応の未来像
静岡大学 小山真人
- 15:15 総合討論 司会 中村洋一・藤田英輔
話題提供 防災士研修センター 宮下加奈
- ・"リアルタイムハザードマップ"の定義
 - ・必要とする情報と発信可能な情報とその精度の確認
 - ・有効なツール（フォーマット）の提案
- (16:00 終了)

※ 事前の参加登録の必要はありません。

お問い合わせ先

(独) 防災科学技術研究所火山防災研究部 (藤田・石峯・中村)

電話 : 029-863-7537, [E-Mail : kazan-ws@bosai.go.jp](mailto:kazan-ws@bosai.go.jp)